



## 巻頭特集

# 救急ワークステーションの運用を開始しました



当院救急診療科医師と深谷市消防本部所属救急隊員

## CONTENTS

- ふれあい看護体験を実施しました .....P. 4
- 院内がんサーボード/七夕コンサートを開催しました .....P. 5
- 入院セット「e-レンタル」を導入しました .....P. 6
- 密着取材！病院薬剤師の1日 .....P. 7
- 地域医療連携だより .....P. 8～
- INFORMATION .....裏表紙

令和5年 夏号

Vol.76

### ～ 受診される患者さまの権利 ～

1. 個人の人権を尊重した良質な医療を受ける権利
2. プライバシーが保護される権利
3. 納得のいく説明と情報提供を受ける権利
4. 自らの意思で検査・治療法などを選択、あるいは拒否する権利
5. セカンドオピニオンを得る権利



## 派遣型救急ワークステーションの運用を開始しました

前号でもお知らせした、当院の「派遣型救急ワークステーション」事業ですが、令和5年5月より本格的な運用を開始いたしました。

第1例目となった事案では、通報から3分で、救急隊とともに救急診療科医師が出動。12分後には現地へ到着し、傷病者の診察を開始し迅速な判断のもと当院へ収容を決定。すぐに現場を出発し、実に通報から24分後には病院へ搬送が完了できた好事例でした。

今回は、第1例目の事案に関わった、当院救急診療科医師・脳神経外科医師、深谷市消防本部所属救急隊員、患者様にインタビューを行い、それぞれの立場から、派遣型救急ワークステーション事業について語っていただきました（患者様本人に許可を得て掲載しております）。

### \*派遣型救急ワークステーションとは

深谷市消防本部より派遣された救急隊1隊（救急車1台・救急救命士を含めた救急隊員3名）が、平日出勤帯、当院内に設置されたワークステーションに駐在します。

多数の傷病者が発生した場合等の他、医師の同乗が有用であると判断された場合には、救急隊と共に医師も現場に出動し、迅速かつ適切な救命処置を開始することで救命率の向上を図ります。また、出動の無い時間帯には、救急隊は救命救急センターで再教育実習を行い、知識・技術の向上に努めています。

現場に出動した当院救急診療科医師 柚木 良介



救急ワークステーションがスタートして1例目として出動しました。脳血管障害で早期搬送し、脳外科との連携で血管内治療を迅速に行うことができたため、患者様は良好な経過を辿りました。また、患者様が当院の院外駐車場のオーナーのお一人であったことに不思議な縁を感じています。

まだ運用が始まったばかりですが、救急ワークステーション事業では患者様への早期の医療介入が可能になると同時に、**医師も現場という貴重な経験を積むことができます。**加えて、救急隊との相互理解も進むため、より良い関係を構築できます。

現在は直近出動が主で、重症度にかかわらず出動し事例を重ねていますが、今後は遠方であっても、近隣救急隊と同時出動して早期介入するようにして、**より広範囲での重症例に対応していきたいと考えています。**また、近隣病院との連携構築にも継続して努めてまいります。



脳血管疾患を発症した場合、病院に搬送され治療を開始するまでの「時間」をいかに短くするかが、救命とその後麻痺などの後遺症を減らすために非常に重要となります。

通常は、救急車が到着してから救急隊が患者を観察して脳卒中の判断をし、その後搬送先調整（病院へ受入可否を問い合わせる）となるので、時間が取られてしまうことが多々あります。この事例では当院の救急診療科医師が現場に派遣され、適切で迅速な判断がなされたため、Aさんの治療に功を奏しました。幸いなことに、大きな後遺症もなく自宅に退院できそうで大変喜ばしく思っています。

今後も迅速な判断と適切な現場処置により、患者さまの生命が救われ、元気に退院していくことを大いに期待しています。

6月上旬、散歩中に右足をひきずるようになり転倒し、右半身に麻痺が出現。当院へ搬送され、緊急手術（急性期血行再建術ほか）が施行されました。現在は起き上がり歩行できるまでに回復されました。

（Aさんからのコメント）  
深谷日赤と消防本部で行う「救急ワークステーション」のことは、広報誌等を通じて知っていました。まさか自分がその1例目になるとは思いませんでしたが、現場で救急の先生が迅速な判断をしてくれたおかげで生命が救われたことに大変感謝しています。

これからも関係者の皆さまの活躍と安全をお祈りしています。



患者Aさん（70代 男性）



深谷市消防本部 花園消防署寄居分署  
第一救急係長 内野 宏昌

派遣型救急ワークステーションの運用開始後、第1例目となる医師同乗の救急事案に隊長として出場しました。現場到着後、医師とともに傷病者を観察、脳卒中が疑われる事案であったため、速やかに同乗医師と搬送先病院の意志疎通を図り、深谷赤十字病院に収容連絡のうえ傷病者を搬送・収容することができました。

普段は救急隊のみで実施している傷病者の観察や判断、また病院連絡や搬送に至るまでの一連の救急活動が、本事案では出場時から医師との情報共有が図れたことで迅速な救急活動に繋がったものと思います。

引き続き、派遣型救急ワークステーションを通じて医療機関との信頼関係の構築を図り、病院前救護の質の向上に努めていきます。



～看護の心をみんなの心に～

# ふれあい 看護体験



を開催しました

7月25日(火)、看護師・助産師の仕事に興味がある高校生を対象とした「ふれあい看護体験」を実施し、30名の高校生が参加しました。当イベントは埼玉県看護協会の事業計画に基づいたイベントであり、当院ではコロナ禍のあいだ開催を見送ってききましたが、今年は4年ぶりに開催することができました。

参加者は、看護職員が清潔ケア・患者搬送・食事介助を行う姿を見学したり、食事配膳等を通じて患者さんと実際にコミュニケーションを交わしたりすることで、看護職の仕事の一端に触れました。

病棟での体験を終えたあとは、参加者同士で看護体験を通じて感じた事、学んだ事を発表し合いました。看護の仕事を身近に感じてもらえたようです。最後には、参加者全員へ修了証が手渡されました。

今回参加していただいた皆さんが将来看護師・助産師となり、当院で一緒に働いてくれることを期待しています。



▲患者さんに使用する医療器具の説明を受けました



▲食事介助の様子を熱心に見学しました



▲患者さんの状態にあわせて食事の形態を変えていることを学びました

## 参加した高校生の感想

患者さんとコミュニケーションを取ることができ、看護をするうえで患者さんの顔色や変化を見落とさないことが大切だと気付きました。

私が将来看護師になった未来図を思い浮かべることができる看護体験でした。看護師という仕事のリアルを見て、「看護師になりたい」と以前よりも強く考えるようになりました。

看護師さんの、患者さんのちょっとした動作や視線などから患者さんの気持ちを汲み取って、何をして欲しいのか考えて声がけをしている姿が印象的でした。

# 院内がんセンターボードを開催しました

7月5日(水)、院内がんセンターボードが開催され、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師等88名の職員が参加しました。

がんセンターボードとは、「がん患者さんの病態に応じた治療方針の意見交換、共有、検討、確認のための多職種によるカンファレンス」のことで、当院は国が指定する「がん診療連携拠点病院」であるため、開催が必須要件とされています。

2題の症例報告がなされ、泌尿器科・千葉部長からは「深谷赤十字病院におけるダ・ヴィンチ手術の導入」の題で、機器導入から職員の教育研修、実際にあったトラブル事例、ロボット支援手術の低侵襲性や医師負担の軽減等について、動画を交えた発表が行われました。消化器科・葛西副部長からは「当院における超音波内視鏡検査の現状」として、導入してから6年間の実績や、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）検査実施の優位性などが報告されました。

今後も職員間の情報共有・連携強化に努めることで、がん治療のより一層の充実を図ってまいります。



# 七夕コンサートを 開催しました

7月7日(金)、当院エントランスホールにて、4年ぶりとなる七夕コンサートが開催されました。このイベントは、外来・入院患者さまやそのご家族の癒しになるように、職員有志や地域の皆さまに出演いただいているものです。

当日は伊藤院長がギターを演奏し、有志の職員がそれぞれバンドベル、和太鼓を披露。その後は正智深谷高校チアリーディング部によるエネルギーあふれる演技を見せていただき、大歓声の中、幕を閉じました。

新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類に移行したことに伴い、院内イベントも再開されつつあります。これからも、地域の皆さまに開かれた病院を目指してまいります。



← 日本赤十字社公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」も来院してくれました！



# e-レンタル 入院セットを導入しました



当院に入院される方に、療養に使用する寝巻や紙おむつ、タオル類、歯ブラシやシャンプーなどの日用品をご用意しておりますが、**必要なものを取り揃えて**頂いたり、洗い替えをご持参頂くなど、**ご家族の方に大変ご負担を頂く**こととなります。寝巻と紙おむつについては以前から病院が取り揃えをしておりましたが、この度、日用品を加えて、**取り扱い業者が、『入院セット』として必要物品の取り揃え、補充、レンタルを行う**こととなりました。(8月1日から新規入院患者さまに提供開始)

『入院セット』は患者様へのサービス向上と院内感染予防の徹底、及びご家族様への労力負担の軽減を目的としております。全ての入院患者さまに、当サービスの利用をご案内しております。**必要な方はお申込み下さいますようお願い**いたします。

なお、品物の提供やレンタルは、**患者さまと取扱い業者(株式会社栄久)と直接の契約**となり、代金の**お支払い**についても業者から請求書が届き、コンビニ等でお支払い頂きます。

## Aセット 日額300円(税込)

×ご利用日数

- ・寝巻(パジャマ・浴衣・つなぎ)
- ・タオル(バスタオル・フェイスタオル)



### 《注意事項》

Aセット又はBセット  
申込後に、途中変更は  
できません。

## Bセット 日額500円(税込)

×ご利用日数

- ・寝巻(パジャマ・浴衣・つなぎ)
- ・タオル(バスタオル・フェイスタオル)
- ・日用品類 ※下記商品の中で必要なものをご利用頂けます。

ポディーソープ・リンスインシャンプー  
歯ブラシ・歯磨き粉  
BOXティッシュ・ヘアブラシ  
マグカップ又はストロー付きカップ



※イメージ図です

## ◎ 紙オムツセット

### Cセット 日額420円(税込)

×ご利用日数

- ・紙オムツ(テープ式・パンツ式)

※ 使用枚数に関わらず一律料金になります。



## ◎ 紙オムツセット(オプション)

### 尿取りパッド 日額150円(税込) ×ご利用日数

※ オプションのみのご利用はできません。

## ◎ 販売 イヤホン 1個 / 200円(税込)

※ 販売のみのご利用はできません。

※お支払手数料として払込取扱票付き請求書 一通につき70円(税込)が別途加算されます。

密着取材!

# 病院薬剤師の1日

～当院スタッフの「とある1日」をご紹介します～



さとう みつあき  
**佐藤 充朗**

薬剤師／病棟業務係長  
救急認定薬剤師

病院で働く薬剤師の業務とは…

今回紹介する「病棟薬剤業務」の他に、

- 調剤業務：入院患者さんが服薬する薬の取り揃え及び確認
- 薬品管理業務：院内にある医薬品の在庫・品質管理
- 医薬品情報業務：医薬品情報を収集し、医師や看護師等への情報提供
- 外来業務：外来化学療法を行っている患者さんに対する服薬指導、レジメン（治療計画書）の確認

など、医薬品に関する多岐にわたる業務を行っています。

## 病棟担当者カンファレンスに参加

8:30～

病棟薬剤業務を担当している薬剤師同士で申し送り事項の確認を行うと共に、各担当者のスケジュールを確認します。



8:15～

## 薬剤部朝礼に参加

薬剤部員全員が参加する朝礼では、申し送り事項の確認等を行います。

10:00～随時

## 病棟業務(医師への処方提案等)

医師から医薬品についての相談があったため、患者さんに最適と思われる処方提案しました。

医師だけでなく、看護師等のメディカルスタッフからの薬剤に関する質問や相談にも応じています。



t-PA製剤

【脳神経外科：大谷部長より】

超急性期脳梗塞に対するt-PA静注療法（血栓溶解療法）を行う時には薬剤師さんが大活躍しています！

## 入院患者さんへの服薬指導

13:00～



患者さんのベッドサイドへ赴き、患者さんが安心して服薬できるよう、薬の効果や仕組み、注意事項等を分かりやすく説明します。

また、患者さんに副作用が起きていないか確認することで、安全かつ質の高い医療の提供を目指しています。

服薬指導実施後は、医師とも情報共有するために、患者さんに指導した内容や患者さんからの相談事項を電子カルテに記録します。



16:00～

## 救急外来対応



この日は、救急診療科医師から緊急対応が必要な患者さんが搬送されるという連絡が入ったため、救急外来に向かいました。

日本臨床救急医学会認定の「救急認定薬剤師」として、主に、救急搬送された患者さんに使用する薬剤の準備と調製を行っています。

救急医療の現場で、医薬品の専門職である薬剤師が関与することにより、医療の質と安全の担保だけでなく、医師とのタスク・シフト/シェアにも寄与しています。

## 薬学生への実務実習指導

16:30～



実習中の薬学生と一緒に症例検討を行い、アドバイスを送ります。

当院は薬学生実務実習受入施設であるため、未来の薬剤師の育成にも注力しています。

## TOPICS

### 専門薬剤師・認定薬剤師とは？

医療の高度化に伴い、昨今では薬剤師に対しても、より専門的な医薬品・薬物療法の知識が求められています。

そのような中、特定の領域における、深い医薬品の知識や豊富な薬物療法の経験を持ち、高度な専門性を有しているのが専門薬剤師・認定薬剤師です。

資格認定機関によって異なりますが、専門分野の研修の受講、学会発表、症例報告や、特定分野の実務経験等を経て、各資格が取得できます。

当院では、薬剤部内で領域別チームを作り、各薬剤師が専門・認定薬剤師資格取得に向けて励んでいます。

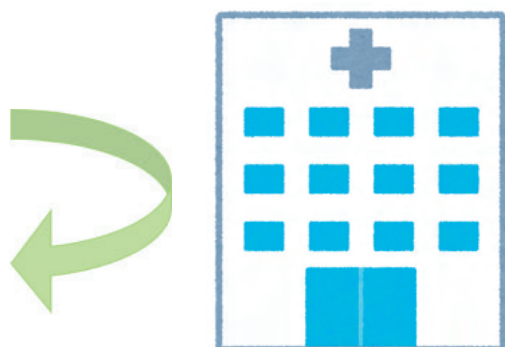
### 当院薬剤部員 所有認定資格一覧

〈日本病院薬剤師会資格〉	〈学会認定資格〉
がん薬物療法認定薬剤師 2名	がん専門薬剤師 1名
感染制御認定薬剤師 2名	外来がん治療専門薬剤師 1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名	緩和薬物療法認定薬剤師 1名
病院薬学認定薬剤師 2名	抗菌化学療法認定薬剤師 1名
	外来がん治療認定薬剤師 1名
〈日本薬剤師研修センター資格〉	救急認定薬剤師 2名
認定薬剤師 15名	栄養サポートチーム専門療養士 1名
認定実務実習指導薬剤師 10名	認知症研修認定薬剤師 1名
	認定クリニカル・トキシコロジスト 1名
	心不全療養指導士 1名

各領域のスペシャリストとして活躍しています。

# 地域医療連携だより

## 深谷赤十字病院は地域との医療連携に努めています。



当院は、初期診療や慢性の継続診療などは「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行っており、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

毎号、医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介しています。

### かわべ内科

住 所 〒366-0051 深谷市上柴町東4-13-10  
電 話 048-572-8215  
院 長 川辺 晃一  
診 療 科 内科、消化器内科、  
糖尿病内科、アレルギー科  
休 診 日 日曜、祝日、第2土曜、水曜午後、土曜午後  
診 療 時 間 午前9時～12時 午後3時～6時



#### 院長先生からのメッセージ

かわべ内科は開院2周年。私は深谷赤十字病院に20年以上勤務しましたが、大きな病院とは別の形で地域貢献できればと思い、開院致しました。プライマリーケアから精密な内視鏡治療まで幅広く対応致します。“笑顔・親切・フレンドリー”を合言葉に、スタッフ一同ご来院をお待ちしております。

### 深谷さくらクリニック

住 所 〒366-0052 深谷市上柴町西3-21-5  
電 話 048-579-5694  
院 長 渡辺 亮治  
診 療 科 皮膚科、内科、アレルギー科  
休 診 日 日曜、祝日、水曜午後、土曜午後  
診 療 時 間 午前9時～12時 午後2時～6時



#### 院長先生からのメッセージ

当院は年号が変わる少し前の平成30年6月に開業しました。以来あっという間に5年の歳月が経過しました。日々悪戦苦闘ながらも皆様のお陰で何とかやってこれたと思っております。主として皮膚科ですが、当たり前前の診療が当たり前できるよう日々精進してまいります。



## <地域の皆様へのご案内>

**当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。**

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

**紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科7,700円・歯科5,500円）のご負担がなくなります。**



### 丸山歯科医院

住 所 〒366-0029 深谷市上敷免365  
電 話 048-571-0889  
院 長 丸山 吉弘  
副 院 長 丸山 修平  
診 療 科 歯科、小児歯科  
休 診 日 日曜、祝日、木曜  
診 療 時 間 午前9時～12時 午後2時～6時



#### 院長先生からのメッセージ

当院は地域の皆さんのお口の健康を生涯お守りし、歯が悪くなってからではなく、悪くならないようにすることで食事や会話が楽しくなり、ずっと笑顔で過ごしていただくためのサポートができる。そんな歯科医療の実現を目指しています。

### かみのクリニック

住 所 〒360-0012 熊谷市上之3876-1  
電 話 048-501-0010  
院 長 石井 義孝  
診 療 科 内科  
休 診 日 日曜、祝日、水曜午後、木曜午後、土曜午後  
診 療 時 間 午前9時～12時 午後2時30分～5時



#### 院長先生からのメッセージ

当院は、透析（血液透析・腹膜透析）診療、内科診療、腎臓病・リウマチ膠原病診療を中心に診療を行なっています。地域医療の一役を担えるように、職員一同努力しております。深谷赤十字病院での経験を活かし、深谷赤十字病院と連携しながら地域診療にあたらせて頂きます。

# 放射線治療装置(リニアック)一時休止のお知らせ

この度、当院では放射線治療装置(リニアック)の入替え設置工事を実施いたします。  
つきましては、下記期間において放射線治療患者様の受け入れを一時休止させていただきます。

◆放射線治療休止期間(予定)

2023年(令和5年)7月末～2024年(令和6年)1月末頃

◆休止期間中の対応

放射線治療が必要な患者さまへは、近隣医療機関をご紹介させていただきます。

◆放射線治療再開(予定)

2024年(令和6年)2月頃



患者さまをはじめ、関係医療機関の皆様方には大変ご迷惑をおかけすることとなり恐縮ではございますが、ご理解・ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 親子ふれあい病院体験を開催します

参加者の皆さまに大変ご好評いただいた「親子ふれあい病院体験」を、今年も開催いたします! 小学生とその保護者の方が、医療・看護・災害救護の体験をしていただくことができる企画です。皆さまのご参加をお待ちしております!

〈期 日〉令和5年10月21日(土)  
〈体験内容〉

- ①医療体験：手術時の結紮(糸結び)体験、超音波検査の見学
- ②看護体験：沐浴の体験、救命処置(胸骨圧迫とAED操作)
- ③災害学習：屋上ヘリポートの見学、防災食の試食(α米とレトルト保存食など)
- ④その他：管理栄養士による「食事と健康」についての講話、白衣・救護服を着用しての記念撮影

【前回(令和4年10月)開催時の様子】



結紮(けっさつ)体験



エコー体験

### 深谷赤十字病院の理念と基本方針

理 念

人道・博愛の赤十字精神のもと、地域の皆様の健康を守り、信頼される医療を提供します

- 基本方針
- 1 医療人として生命倫理を最大限尊重します
  - 2 医療の質の向上に努めます
  - 3 患者中心の医療を行います
  - 4 地域との医療連携に努めます
  - 5 災害救護と国際活動に貢献します
  - 6 健全経営による働き甲斐のある病院を目指します

### 深谷赤十字病院臨床研修の理念と基本方針

理 念

医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁にかかわる負傷または疾病に適切に対応できる診療能力を身につける。

- 基本方針
- 1 基本的診療能力の習得  
臨床医として将来専門とする分野に関わらず必要な基本的診療能力を習得する。
  - 2 患者の立場に立った医療を実践  
医師として患者から人間としても信頼される思いやりの心を持った謙虚な医療人となり、患者の立場に立った医療を実践する。
  - 3 チーム医療の実践  
チーム医療の大切さを理解して病院内の他職種と連携を密にしてコミュニケーションを取りながら安全な医療を提供する。
  - 4 地域医療に貢献  
地域の中核病院としての役割を理解し、地域医療に関心を持ち、地域医療の現場を経験する。
  - 5 赤十字病院の責務や理解  
赤十字病院として公的病院の責務や災害時における医療救護活動を理解する。
  - 6 生涯学習の継続  
質の高い医療を提供できるよう、生涯を通じて教育・学習を続ける態度と習慣を実践し、医療技術の習得に努める。また、後輩を育成することによって自らが学ぶ姿勢を有する。

皆さまへより良い情報提供ができる誌面づくりを目指しております。本誌に対するご意見・ご要望等ございましたら、深谷赤十字病院 広報・公聴委員会までお寄せください。【048-571-1511 (代表)】

